



中部電力パワーグリッド



別紙：2023年度供給計画（一般送配電事業者）の概要

2023年3月30日

中部エリアの需給見通し

	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	2032年度
最大電力 [万kW]	2,455	2,470	2,461	2,452	2,443	2,434	2,424	2,414	2,405	2,395
供給力 [万kW]	2,864 (2,966)	2,969 (3,026)	2,755	2,705	2,774	2,772	2,775	2,776	2,644	2,648
供給予備率 [%]	16.7% (20.8%)	20.2% (22.5%)	11.9%	10.3%	13.6%	13.9%	14.5%	15.0%	9.9%	10.6%
年間EUE [kWh/kW・年]	0.000	0.000	0.004	0.011	0.002	0.001	0.000	0.000	0.001	0.001

年間EUE（現在の供給信頼度評価基準）の目安

年間EUEは、1年間8,760時間を対象に、需要と供給力の確率的な変動を考慮した供給力不足量（kWh）の期待値。需要1kWあたりの供給力不足量が基準値（0.048kWh/kW・年）以内であることが、安定供給の目安となる。

予備率（補完的な供給信頼度評価）の目安

気象変動による需要の急増や発電機のトラブル停止などに対応するため、安定供給の目安として供給予備率8%～10%を設定。

注1) 最大電力は、最大3日平均の送電端値

注2) 供給力及び供給予備率は、当社が電力広域的運営推進機関に提出した供給計画に記載した値

注3) () は、連系線を活用した他エリアからの供給力を考慮後の値（2025年度以降は非公開）

【別紙】2023年度供給計画（一般送配電事業者）の概要

当社の流通設備計画

	件名	規模※1	使用開始時期
送電設備	500kV 下伊那分岐線	0.3km	2025年10月
	500kV 恵那分岐線	1km	2025年10月
	275kV 東名古屋東部線	8km	2025年11月
	275kV 北四日市分岐線	6km	2029年1月 2029年8月
変電設備	北豊田変電所 275/154kV変圧器減設	Δ45万kVA	2023年12月（廃止）
	中勢変電所 275/77kV変圧器取替	15万kVA→25万kVA	2025年3月
	三河変電所 275/154kV変圧器減設	Δ45万kVA	2025年4月（廃止）
	500kV 下伊那変電所	60万kVA	2025年10月
	500kV 恵那変電所	40万kVA	2025年10月
	南福光連系所 BTB廃止※2	Δ30万kW	2026年度（廃止）
	駿遠変電所 275/77kV変圧器取替	30万kVA→40万kVA	2026年4月
	西濃変電所 275/154kV変圧器取替	60万kVA→75万kVA	2026年6月
	駿遠変電所 275/77kV変圧器減設	Δ15万kVA	2026年9月（廃止）
	中信変電所 275/154kV変圧器減設	Δ30万kVA	2026年10月（廃止）
	西濃変電所 275/154kV変圧器減設	Δ30万kVA	2027年1月（廃止）
	東栄変電所 500/275kV変圧器増強	80万kVA→300万kVA	2024年10月 2027年3月
	静岡変電所 500/275kV変圧器増設	100万kVA	2027年3月
	東清水変電所 FC増設	60万kW	2028年3月
	275kV 北四日市変電所	135万kVA	2029年1月
新三河変電所 500/275kV変圧器増設	150万kVA	2030年8月	

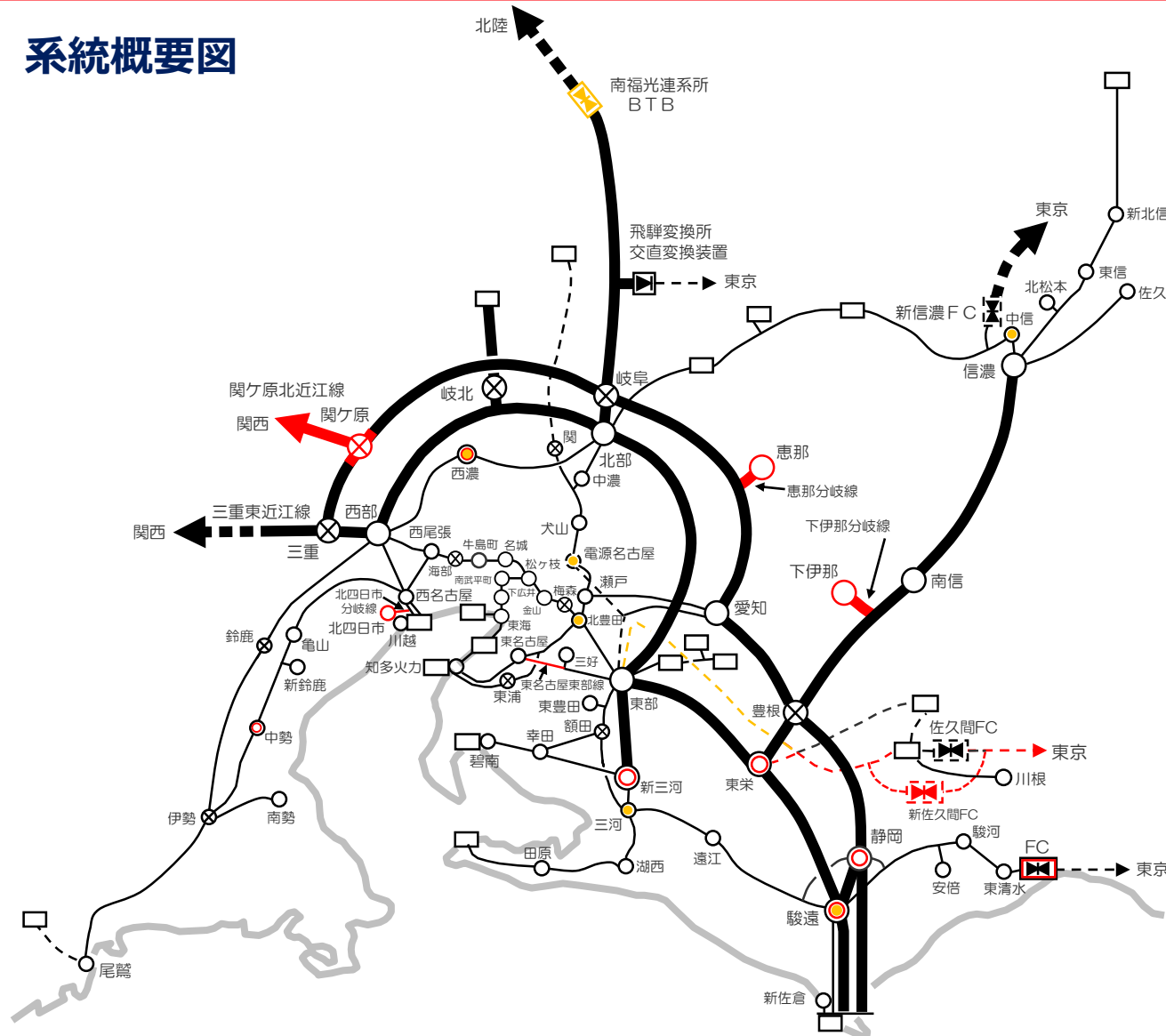
注) 使用開始時期が未定の設備については記載していない



※1 送電線は巨長、変電所は増加出力を示す

※2 計画策定プロセスにて検討

【別紙】2023年度供給計画（一般送配電事業者）の概要

系統概要図



- 凡例
-  500kV 送電線
 -  275kV 送電線
 -  変電所
 -  開閉所
 -  交直変換所
 -  FC
 -  発電所
 -  他社送電線
 -  他社変電所
 -  今後使用開始する送電設備 (新設・増強)
 -  今後廃止する送電設備 (減設)
 -  今後使用開始する変電設備 (新設)
 -  今後使用開始する変電設備 (増設・増強・減容量)
 -  今後廃止する変電設備 (減設)

注) 500kV、275kV系統の設備を記載